

健康だより

健康課・医療対策課
 ☎53-2101
 各地域の保健センター
 萩原 ☎52-1230
 小坂 ☎62-3111
 下呂 ☎25-2680
 金山 ☎32-4500

がん検診等申込調査のお知らせ

下呂市が実施するがん検診などの受診希望調査を3月に実施いたします。これは加入保険に関係なく下呂市住民の方で年齢・性別の対象に該当すればだれでも受診できます。各世帯に申込調査用紙が郵送されますので、受診を希望する検診に記入していただき、同封の返信用封筒で返送してください。

検診の内容は次の通りです。

- 肝炎検査・歯周疾患検診
- 肺がん(結核検診)・胃がん検診
- 大腸がん検診・子宮頸がん検診
- 乳がん検診

市の検診は各地域をバスで巡回する集団検診と医療機関にて実施する個別検診があります。5月に受診券をご案内する際に両検診の詳細をご案内いたしますので受診してください。

◎国民健康保険にご加入の方へ

国民健康保険にご加入の方は職場等で健診を受ける機会がない為、希望調査に関係なく対象となるがん検診の受診券を特定健診の受診券と一緒に5月下旬にご案内しますので受診してください。(乳がん・子宮頸がんは別便で送ります)

注意事項

- 記入方法は同封の案内を読んでいただきご記入ください。
- 調査票は市の検診を希望する方のみご回答ください。
- 世帯全員が受診を希望されない場合は返送しなくても結構です。
- 対象年齢により自己負担金が無料になります。案内に無料対象の生年月日がありますので確認いただき、この機会に検診を受けてください。

◎罹患年齢

胃がん……60代から急増。
 大腸がん……40代からリスクが増大。
 肺がん……40代からリスクが増大。
 乳がん……40代から急増。
 子宮頸がん……20代から急増。

ワースト順位	男性	女性
1位	胃	乳房
2位	大腸	大腸
3位	肺	胃

(岐阜県地域がん登録平成19年次集計より)

下呂市の検診で「がん」が発見されています。

	H 22 年度	H 23 年度
胃がん	5人	3人
大腸がん	8人	7人
肺がん	4人	6人
乳がん	3人	0人
子宮頸がん	1人	0人

自分が元気なうちは、気にもとめない「がん」ですが、とても身近な病気です。

年に1度は受診して「がん」の早期発見、早期治療に努めましょう。

下呂市立休日診療所

下呂市森801-10(下呂市民会館内)
 ☎24-1200

診療科目 内科、小児科(急病患者に限りませ)

診療日 日曜、祝日、年末年始

診療時間 午前9時～午後3時

※事前に電話をしてお越しください。(予約はできません)

※受診の際は、必ず保険証やお薬手帳(ある場合)をお持ちください。

※急病患者専用のため、平常継続して受けている治療はご遠慮ください。

3・4月の担当医

4月		3月	
29日(金)	村瀬寛紀(循環器科クリニック)	3日(日)	近藤靖士(近藤医院)
28日(木)	小林源博(こぼやし整形外科)	10日(日)	細江昭比古(市立中原診療所)
21日(日)	二村 克(二村医院)	17日(日)	黒木尚之(黒木医院)
14日(日)	中田宗彦(中田医院)	20日(水)	藤岡 均(藤岡医院)
7日(日)	阿部親司(阿部医院)	24日(日)	大林秀成(萩原北醫院)
31日(日)	今井直人(花田医院)	31日(日)	今井直人(花田医院)

※都合により担当医が変更される場合があります。



※休日診療所の担当医は、地上デジタル放送ぎふチャン(8ch)のデータ放送でもご覧いただけます。

風しんが流行しています

現在、風しんに感染する人が全国的に増える傾向にあります。妊婦の方は風しんに感染すると胎児に影響がでるため、左記の方でこれまでに風しんにかかっていない場合、または予防接種を受けていない場合は予防接種を受けることをお勧めします（任意で有料）

【積極的に予防接種を受けていた方が良い方】

・10代後半から40代の女性で妊娠を希望する方、妊娠する可能性が高い方

- ・妊婦の夫や同居家族
- ・出産直後の方

愛犬を迷子にさせないために...



最近、迷子の犬が増えていますが、また、保護した犬の首輪に、鑑札や注射済票がついていないなど、飼い主を特定する手がかりがないため、飼い主の元へ返せない事があります。市役所には保護した犬を飼育する施設がないため、飼い主がわからない

い場合は保健所へ引き渡します。保健所で犬が保護されている期間は5日間です。期間を過ぎてても飼い主が現れない場合には処分されてしまうこともあります。

かわいい愛犬が迷子にならないように、犬を繋いでおくロープや柵などを点検してください。また、首輪には必ず鑑札と注射済票を付けるとともに、万一迷子になっても飼い主がわかるように連絡先の記入をお願いします。

下呂市自殺予防人材育成研修会

近年増えつつある自殺について、

下呂市の実情についての説明や講演を聞きながら、地域でできることを考えてみませんか？（なおご参加頂く場合は、お手数ですが事前に電話にてお申し込みください。）

◎日時・場所

3月21日（木）午後2時より

星雲会館 2階天慶の間

◎内容

下呂市の自殺に関する報告と講演後、参加者同士による話し合い

◎講師

南ひだ せせらぎ病院医師

●お申込み・お問合わせ

下呂市役所 健康医療部 健康課
☎53・2101（内線622）

from doctor フロム・ドクター

現在、日本では二人に一人が、がんに罹患し男性は四人に一人、女性は六人に一人ががんで死亡するとされています。それほどがんは身近な病気であり、生活する地域に密着した治療が必要な病気といえます。また、がんにかかる割合は加齢とともに増加するものであり、高齢化が進む当地域においても対策に力を入れる必要があります。

かかりやすいがんの種類としては、男性では多い順に、胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、肝臓がんなど、女性では、乳がん、大腸がん、胃がん、肺がん、子宮がんなどとなっています。死亡者の多いがんとしては、男性では、肺がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がんなどの順で、女性では、大腸がん、肺がん、胃がん、膵臓がん、乳がんなどです。

胃がんは、最も多いがんで、大腸がんは年齢とともに増加し、乳がんは、四十代後半から五十代前半に多く発生しています。肺がんは死亡率が最も高いがんですが、乳がんはがんの中でも助かる確率の高いがんです。胃がんや大腸がんは、検診を受けることによって早期に発見されやすく、乳がんは自分で見つけることが出来る唯一のがんで、

早期に治療が可能のため、出来る場所とも関係して治る確率が高くなっています。肺がんや膵臓がんは、早期発見が困難で、発見されたときには周囲臓器に広がっていることも多く、死亡率も高くなっています。

がんの治療法には手術療法、放射線療法、抗がん剤などの薬物療法などがあり、単独または組みあわせて行われます。がんの治療はがん細胞との戦いです。戦いに勝った

がんの話

めには敵を知らなければなりません。がん細胞は元来生命力が弱く、発生しては消えていきますが、そのわすかは性質を変えながら生き延び、徐々に、確実に様々な顔を持って増えていきます。がん細胞が分裂して増えていくスピードはゆっくりで、一つの細胞が二つになるのに八十日から百二十日はかかるされています。これは胃の粘膜が再生するよりも遅く1cmのがんの塊になるのに四〜五年はかかっています。乳がんでは触れてわかるようになるまでに同様の年月を要しています。がん細胞が増えていく間には、細胞がリンパ液や血液に乗って全身の臓器に転移していきまます。がんが完治するためには転移する前に手術的にがん細胞を除去する事が必要です。転移してしまったがんに対しては抗がん剤による治療が行われますが抗がん剤による完治は困難なことが多く、がんと共存することになり、最後はがんにより生命が絶たれることとなります。

がんになるとその治療の様々な過程で病院との関わりが必要で、金山病院では地域で生活しながらがんの治療を行える体制をとっています。がん検診、手術、抗がん剤治療などに力を入れ、金山病院では困難な治療は専門病院と連携しながら皆さんのご希望にお応えしています。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦

※金山病院では、医師・看護師の募集をしております。詳細につきましては、金山病院事務課までお問い合わせください。

「女性の健康週間」

「子ども予防接種週間」

期間：3月1日（金）～8日（金）

期間：3月1日（金）～7日（木）

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごせるよう、みんなで支援しましょう。

子どもを病気から守るために、予防接種を適切に受けて感染症予防に努めましょう。